大塚敬節
矢数道明 責任編集

近世漢方医学書集成

97

浅田宗伯 三

名著出版刊

南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 97 浅田宗伯(三)
第III期 全40巻

昭和五十七年十二月二十五日 発行

編者 大塚敬節 矢数道明
発行者 中村安孝
発行所 株式会社 名著出版
東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八一五)一二七〇番代
振替口座 東京七—一〇五九四番

予約限定版

製版所 株式会社 日本写真製版社
印刷所 有限会社 伊藤印刷
製本所 辻本製本所

落丁本・乱丁本はお取替えします。

3347－0995－8324

責任編集

大塚　敬節

矢数　道明

編集委員

山田　光胤

寺師　睦宗

大塚　恭男

矢数　圭堂

松田　邦夫

凡　例

一、本書第九十七巻「浅田宗伯㈢」には、『傷寒論識』を収録した。

一、本書は全て影印版によったが、影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮少し、一頁に半丁ずつ収めた。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

ニ、底本にある蔵書印及び書き込みはそのままにした。

一、底本は次の通りである。

傷寒論識　写本　六巻七冊（大塚恭男所蔵）

一、本書収録書目の解題については、第九十五巻「浅田宗伯㈠」に記した。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

浅田宗伯 (三)

目次

凡例……三
傷寒論識
傷寒論識総評……五
巻之一……一五
弁太陽病脈証幷治法上……一九
巻之二……九三
弁太陽病脈証幷治法中……九五
巻之三……二九七
弁太陽病脈証幷治法下……二九九
巻之四……四一五
弁陽明病脈証幷治法……四一七
弁少陽病脈証幷治法……五三五
巻之五……五四九

弁太陰病脈証幷治法……五五一
弁少陰病脈証幷治法……五六七
巻之六……六四三
弁厥陰病脈証幷治法……六四五
弁陰陽易差後労復病脈証幷治法……七一五

傷寒論識

傷寒論識

長

修琴堂藏書
傷寒論 第 63 號

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

傷寒論識總評

吳澄曰、漢末張仲景著傷寒論、予嘗嘆秉漢之文
彙、無復觝如西都、独医家此書淵奥典雅、煥然三代
之文、心一怡之、及覩仲景自序、卑弱殊甚、然後知序
乃仲景所自作、而傷寒論即古湯液論、蓋上世遺經、
仲景特編纂云爾、非其自撰之言也、晋王叔和重加
論次、而傳録者誤以叔和之語、參錯其間、莫之別白
云〻、按自序天布五行以下文、千金方載之不云仲
景曰、外臺秘要亦揭此文、冒謂王叔和曰、則千金之
文乎、將叔和之語乎、未可知、且所引素問九卷、八十

一難、陰陽大論、胎臚藥錄等、書、質之於論中、未嘗有一本于此者、又所謂五行經絡之說、三部九候明堂關庭之診、論中所未嘗說、序乃說之、何其說之矛盾乎、況仲景建寧中人、而標曰建安、身在東漢、而題曰漢之類、鑿々乎足徵、後人之手痕、則此序亦與衛宏詩序、同出于晉人假託無疑矣、草廬吳氏雖卓識、其說未必悉然、

辨脉篇文體議論、不與本論吻合、別是一書、蓋後人据據医經脉語、而鎔鑄為編者也、故脉藹々如車蓋章、出于素問平人氣象論、及十五難、脉来緩時一止

章、出于太陽下篇、脉弦而大章、出于金匱血痺虚労篇、驚悸吐衄篇、及婦人雑病篇、其他脉証糅論、鹵莽頓重、無足信者、前輩業已辨之、今從而不采用焉、

平脉即辨脉第二編也、平辨古相通、虞書平章、史記作辨章、索隠云、此蓋文讀平為浦耕反、平既訓便、因作便章、其今文作辨章、古平字亦作便、音婢緣反、便則訓辨、遂為辨章、詩采菽篇、平々左右、毛傳云、平々辨治也、蓋平字与辨声近、故相通也、此篇亦與初篇辨字義無異、注家或為平天下之平、或為平人無病之脉、并誤、脉經單作脉論、千金翼作診脉大意、其義

可以見耳、此亦後人本于自序平脉辨証之語、裒集素難金匱脉語、擬為平脉法、其蹈襲之迹、歷然可徵、上工望而知之章、出六十一難、脉有三菽六菽章、出五難東方肝脉章、出玉機真藏論、脉浮而大章、出金匱水氣病篇、其與辨脉法、同成于一人之手、無疑矣、又按此篇用韻、其體与辨不可篇及要畧婦人雜病篇之所用一韻、俱音以降、押韻、而非漢人之詩體、此皆非古文之一徵、傷寒例一篇、係王叔和撰、于金外臺二書所引、可為明徵、而篇中所謂今搜採仲景旧論、録其証候診脉声色、對病眞方有神驗者、擬防世急也之語、叔和自言殆不可証也、但篇首所載運気一頁、疑後人因後段按斗曆占之之語、而妄作者、亦非叔和之旧矣、成

氏注本不載之似是然注間往々曰占前斗建曰明前斗曆之法則皆似指此一頁蓋此例宋元諸家奉以為金科玉條特明鄞溪黄氏作傷寒類証辨惑曰辨脉法平脉法傷寒例三篇叙和采摭群書附以己意雖間有仲景説実三百九十七法之外者也方喻諸氏從唱之刪正不遺餘力可謂卓識矣

痓湿暍一篇本是雜病出千金鬼要畧方証具備而今唯揭其証者係後人之為也千金翼云傷寒與痓病湿病及熱病相濫今云以為与傷寒相似而辨致明後人之所附矣痓湿暍及霍乱四種余嘗於雜病

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com